



理事長



齋藤 浩記

明けましておめでとうございます。
平成が終わるといふ大きな節目の年がいよいよ明けました。
一年の計は元旦にあり。どんな展望を描いているのでしょうか。
振り返れば、大正から昭和に変わる時、そして昭和から平成に変わる時、年号の変わり目とは何か歴史が動いてきたという過去があります。
今回の改元で何が変わるか、今から色々と想像してしまいます。
当グループに於いても、全体として更に事業規模は大きくなっていくでしょう。

また、北海道・明生会の方では病院名や施設名を改称し、脳神経外科単科からの脱却が実現していくこととなります。その他、ここでは書き切れない様々な計画が実現していくのを目の当たりにすることと思います。

医療・介護・福祉・保健にとっては、世界一の少子高齢化社会を迎えている日本が世界の中で最も重要な役割を果たすことは間違いありません。大袈裟に言えば日本がリードすると言っても良いかもしれません。

一方で、国内の事情としては、財源や働き方、など、様々な課題が山積していることも事実であり、これをどう乗り越えていくか？ということ、近き将来に自らもその医療・介護・福祉を受ける側になるのですから、無関係な人は一人もいないとも言えます。そういう意味で、単に手に職があるというレベルの問題ではない当事者意識を持っていく必要があります。着実に、かつ、急がねばなりません。

原点に還って考えれば、患者さんや利用者さんの笑顔を見るのが自らの喜び・・・という、この業界で働く人とは、理性が最も求められ、かつ最もそれを体現できる環境に置かれている存在です。しかも、年齢・性別・立場・人種・言語を超えて、医療・介護・福祉・保健の求められる姿は共通です。そういった崇高な仕事ができるということは何とも素晴らしいことではありませんか。

それぞれの地域での足下を固めつつ日本の将来を見据え、果敢に行動し成果を挙げていきましょう。



病院長



武井みずほ

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は災害の多い年でしたが、地震の時の停電ではお陰様で大きな支障なく業務を行うことができました。しかし学ぶことも多く、もしものための備えをさらに万全に皆様のお役に立てる病院になれるよう努力していく所存です。

昨年より本格的に始まりました医食同源への取り組みも少しずつ進んでおりますので、また何かの機会に皆様の目に見える形にしていこうと考えております。

また、今年新たな取り組みとして、遠隔診療を取り入れ冬季に吹雪などで来院できない方や、様々な事情で来院できない方にも気軽に病院を利用できるよう計画しております。

さらに、外来の自由診療部門もさらなる充実をはかり個別化医療を進めてまいります。お陰様で、鍼灸診療はご好評いただいております。また、栄養療法やサプリメントについてのご相談など体に優しい医療を進めてまいりたいと思います。

高齢化と医療費の増大に伴い、高齢者の多剤併用が問題となっており厚生労働省からの通達もありました。今後はなるべく薬を減らし、セルフメディケーション、セルフサプリメントなど、自分の健康は自分で守らなくてはならない時代になると思います。そんな時代の中で我々医療者ができることは、病気を治すことから、いかにして健康を保つかということに正しい情報とその方の医療データをもとにお伝えすることにシフトしていくと思います。巷にはたくさんの情報があふれており、何が正しいのか、何が自分に合っているのかを見極めるのは至難の業です。健康に良いと思って行っていることがかえって健康を害していたということも多々あると思います。また個人により、効果のある健康法は異なるのです。そんな中で川湯の森病院は皆様が気軽にご相談できる場所でありたいと願っています。

超高齢化に伴い、医療・介護・福祉においてはこれまで以上に重要になってくるでしょう。それに伴い私たちの責任や役割も大きくなることと思います。今年も我々川湯の森病院はスタッフが一人となり、地域の皆様の健康に貢献できますよう努力を重ねてまいります。

今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



看護部長



飯塚 芳澄

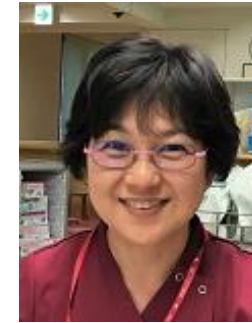
謹んで新年のお慶びを申し上げます。年頭にあたり御挨拶申し上げます。

平成 31 年、新しい平成最後の年がはじまりました。個人的には看護師として働き続けた平成の時代でしたが、次の時代へ数か月後には代わります。川湯の森病院も平成という時代に激動の変化を試み、新しい川湯の森病院としてこの地に根付いてきました。新しい時代では、さらなる成果への期待される役割のために、これからも新しいことへの挑戦を続けていくことでしょう。

みなさん、平成の時代で創りあげたいろいろな宝物をもって、次の時代を拓いていきましょう。私たちの川湯の森病院に関わるすべての人々で。



1階病棟師長



角田ひろこ

早いもので、先生と 2 人で勤務を始めてこの 3 月で 8 年になります。私が師長をさせていただいたのは病院が新しくなってからです。それから、様々な出来事が目まぐるしく去っていきました。私にとってはとても重責で、一主婦からの出発は不安しかありませんでした。病棟の皆さんも沢山入れ替わり、その度に自分自身の反省と振り返りをし、協力をしていただいた事に感謝しています。何事にたいしても、前向きな思考であることが私の原動力でもあります。病棟の師長としての、危機管理は不十分かと感じている次第です。こんな私ではありますが、病棟の皆様が笑顔で仕事ができるように努力は惜しまないつもりです。

今年も、病棟スタッフと協力しながら、意見交換をし、働き続けたいと思える職場づくりに邁進して行きたいと思います。これからも、未熟な私をよろしくお願いいたします。



2階病棟師長



工藤 雄一

新年明けましておめでとうございます。川湯の森病院は病床 100 床を有する療養型病院です。入院患者さんの高齢化が進み、一般病院から入院される患者さんの多くは身体的重症度が高く、認知症を持つ患者さんも増えています。そのため、看護・介護にはより高い知識と技術が要求される時代となりました。

また、院内感染防止や医療安全、行動制限最少化や褥瘡予防に向けた院内の取り組みは必須であることから職員全員で学習を深め、多職種での情報共有と連携により患者さんに安心・安全を提供していかなければなりません。

当院は阿寒摩周国立公園の大自然に囲まれた川湯温泉の中にあり、浴槽内のお湯は良質な源泉を使用しています。関節拘縮が強く、床上での生活を余儀なくされる患者さんにとって入浴は楽しみの 1 つのようです。私自身は、法人理念である『患者さん及び家族・地域社会・スタッフ・自然とともに生きる』ことを心構えに持ち、患者さんご家族にとって安心して療養していただける環境、スタッフにとって働きやすく働き甲斐のある環境を維持・充実できるよう、共生会に所属されておられる皆様と共に邁進していく所存であります。

本年が、皆様にとって心安らかで穏やかな 1 年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

外来師長



高橋 薫
＜感染管理認定看護師＞

新年あけましておめでとうございます。

昨年 10 月、病棟から外来（訪問診療、訪問看護）へと異動しました。覚える事、慣れる事の三か月間でしたが、周りの方々に支えられ、瞬く間に過ぎてしまいました。今年は患者様一人ひとりの病状、立場、生活等にあった援助ができるよう努力して参りたいと思っております。

また、感染管理認定看護師として、最新の情報をお届けし、在宅や施設に合った感染予防が提供できるように努めて参ります。

川湯の森病院に関わる方々が「受診しやすく、相談しやすい雰囲気作り」「治療に専念できる環境作り」そして、「また、来院してみようかな～と思える関係作り」を目指して努力して参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

